健康のためのワンポイントアドバイス

「痛み」について考える

〔愛知医療学院短期大学 助教 藤本大介(理学療法士)〕

痛みとはそもそも何でしょうか?痛みのことを知ることで、 その付き合い方が少しでも変わるかもしれません。

痛みとは何か?

痛みはケガや病気に伴う感覚的なものだけではなく、不 安・怒り・恐れなどの感情や痛みに対する自身の捉え方(楽 観的・必要以上に最悪の状況を考えるなど)が合わさった不 快な体験と定義されています。

痛みへの向き合い方

痛みの定義を踏まえると、痛みの増減には自身の感情や 考え方の傾向が影響することが分かります。自身の感情や 考え方を客観的に捉え、適切にコントロールできれば、痛み と前向きに付き合えるのではないか、と考えることができま す。そうは言っても、自分を顧みず社会から求められている ことに応えようと頑張り過ぎたり、自身の感情や考え方が 揺らいでしまうことも多々あります。その時の対処法をお伝 えします。



痛みに対する対処法

行っていただくことは 「深呼吸」です。しかし、た だの深呼吸ではなく、目 を閉じて行い、息を吸う 時には腹部が膨らみ、息 を叶いた時には腹部が引 っ込むのを感じ取れるよ



うに集中します。行っている時は、「ただ自身を観察する」く らいの軽い気持ちで行うことがコツです。この方法は、痛み を感じている時に行うことで痛みの軽減に役立ち、痛みに 対して客観的に自身を観察する練習となります。

※今回のお話は、痛みへの対処法の1つです。ご自身に合 う痛みとの付き合い方を見つけていきましょう。

防災・減災サポートコーナー 第30話 「断水時の応急給水について」

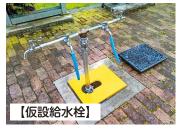
能登半島地震では、石川県を中心に最大11万戸以上の 断水が発生し、2カ月後も1万8千戸以上で断水が続いて います。清須市も震度5弱以上の地震が発生すれば、液状 化現象等で水道管が破損し、断水となる可能性があり、南 海トラフ地震の被害想定でも、<mark>94%が断水</mark>するといわれ ています。

断水対策として、地下式給水栓が西枇杷島、新川、清洲 <mark>地区の小中学校</mark>、水道業者が設置する<mark>仮設給水栓が清須</mark> 市役所、清洲保健センター、花咲公園に設置されています。 春日地区は、県営水道の送水管に応急給水支援設備を設 置し春日小中学校等の避難所に給水活動を実施します。 また<mark>キリンビール名古屋工場との災害協定</mark>でタンクに貯 留している約230万リットル(清須市民約6.9万人、3リ ットル/日で11日分)の飲用水を応急給水します。

ただし、大規模震災時の給水は、病院等の医療機関を優 先して実施されるため、すぐに給水は始まりません。給水 が始まるまで1人9リットル(3リットル/日 3日分)の 水や簡易トイレを備蓄するようにしましょう。

【出典:名古屋市上下水道局】





危機管理課(北館3階)



清須市春日流8番地1

